

研究業績目録

著書

1. 共著, 吉池孝一、中村雅之、長田礼子『遼西夏金元対音対訳資料選』古代文字資料館, 2016年1月, B4版 全100頁.
2. 単著『現代蒙古語方言二種 ―ウールト系とスニト系の蒙古語方言―』古代文字資料館, 2018年11月, CD版書籍 全71頁.

学術論文

1. 単著「上海語の円唇母音[ø]について」『中国語学』(日本中国語学会) 第233号(1986年10月) pp. 63-74.
2. 単著『小叢林略清規』の仮名音彙『中国語学』(日本中国語学会) 第234号(1987年10月) pp. 34-45.
3. 単著「カールグレン「方言字彙」に於ける上海語部分の音注[aʔ][ʌʔ][ɑʔ]をめぐって」『人文学報』(東京都立大学) 第198号(1988年3月) pp. 21-36.
4. 単著『倭名類聚抄』所引の「考声切韻」逸文の反切と「慧琳音義」の反切『汲古』(汲古書院) 第13号(1988年6月) pp. 18-27.
5. 単著「中国語音韻史からみた日本漢字音の清濁」『国語通信』(筑摩書房) 第306号(1988年12月) pp. 22-28.
6. 単著「当代上海語の表記(I)」『語学研究』(拓殖大学) 第59号(1989年12月) pp. 79-107.
7. 単著「当代上海語の表記(II)」『語学研究』(拓殖大学) 第60号(1990年1月) pp. 75-121.
8. 単著「当代蘇州語音の概略」『語学研究』(拓殖大学) 第61号(1990年3月) pp. 115-137.
9. 単著「蘇州語指示詞の指示領域について」『語学研究』(拓殖大学) 第63号(1990年12月) pp. 27-61.
10. 単著「蘇州方言の量詞をめぐる語と語の組合せについて」『語学研究』(拓殖大学) 第67号(1991年11月) pp. 121-128.
11. 単著『蒙古字韻』の増補部分について『語学研究』(拓殖大学) 第72号(1993年7月) pp. 17-31.
12. 単著『蒙古字韻』の元刊本と乾隆写本『中国語学』(日本中国語学会) 第240号(1993年10月) pp. 31-40.
13. 単著『蒙古字韻』のロンドン写本とその複製本『語学研究』(拓殖大学) 第78号(1995年3月) pp. 197-208.
14. 単著「からす、ねずみ、すずめ、めんどりー—江蘇省上海市、浙江省、安徽省方言地図」『中国の方言と地域文化(2) 漢語方言地図集(平成5-6年度科学研究費総合研究A)』(1995年3月) pp. 67-78.
15. 単著「中世蒙古語の漢字音訳と「蒙古字韻総括変化之図」」『日本モンゴル学会紀要』(日本モンゴル学会) 第27号(1997年3月) pp. 77-90.
16. 単著「満洲文字音写「法華経普門品」(東洋文庫所蔵写本)について」『東洋哲学研究所紀要』(財. 東洋哲学研究所) 第14号(1998年12月) pp. (61)-(78).
17. 単著「ホロンバイル盟ウールト系の一蒙古語方言」『紀要(言語・文学編)』(愛知県立大学) 第31号(1999年3月) pp. 249-261.
18. 単著「ウイグル文書のパスパ文字漢語印」『日本モンゴル学会紀要』(日本モンゴル学会) 第30号(2000年3月) pp. 109-118.
19. 単著「ホロンバイル盟ウールト系蒙古語方言の基本語彙(1)」『紀要(言語・文学編)』(愛知県立大学) 第32号(2000年3月) pp. 339-352.

20. 単著「ウイグル文書のパスパ文字チュルク語印について」『東洋哲学研究所紀要』(財. 東洋哲学研究所)第16号(2000年12月) pp. (88)-(104).
21. 単著「ホロンバイル盟ウールト系蒙古語方言の基本語彙(2)」『紀要(言語・文学編)』(愛知県立大学)第33号(2001年3月) pp. 449-462.
22. 単著「貨幣文字考—西夏文字」『東洋哲学研究所紀要』(財. 東洋哲学研究所)第17号(2002年1月) pp. (82)-(94).
23. 単著「拓殖大学図書館所蔵の満洲語文献について」『紀要(言語・文学編)』(愛知県立大学)第33号(2002年3月) pp. 313-320.
24. 単著「哥葛などの元代音について」『KOTONOHA』第36号(2005年11月) pp. 16-23.
25. 単著「清代のパスパ文字研究」『紀要(言語・文学編)』(愛知県立大学)第39号(2007年3月) pp. 381-395.
26. 単著「漢字関連文字の諸相」『佐藤進教授還暦記念中国語学論集』好文出版(2007年4月) pp. 154-163.
27. 単著「元代銅錘蒙古語銘文考」『語学教育フォーラム 華夷訳語論文集』(大東文化大学語学教育研究所)第13号(2007年10月) pp. 139-142.
28. 単著「原本蒙古字韻再構の試み」*International Workshop on Hunminjeongeum and hPags-pa script*. 韓国学中央研究院(2008年11月) pp. 141-155.
29. 単著「『慶陵』の契丹文字接尾語表について」『KOTONOHA 百号記念論集』(古代文字資料館)単刊第5号(2011年3月) pp. 90-107.
30. 単著「关于长田夏树先生遗留的契丹小字解读工作的资料」『契丹学国际学术研讨会会议论文集』中国:赤峰(赤峰市人民政府、内蒙古博物館、中国社会科学院民族学与人類学研究所、赤峰学院)(2012年8月) pp. 327-335.
31. 単著「韃靼館雑字再考—蒙古語のh-とq-の沿革について—」『KOTONOHA』第123号(2013年2月) pp. 1-17.
32. 単著「关于契丹小字后缀表(《庆陵》1953年刊)」『华西语文学报 契丹学专辑』第八辑(2013年6月) pp. 18-23.
33. 単著「字素排列法—关于汉字、西藏文字、契丹小字和训民正音—」『KOTONOHA』130号(2013年9月) pp. 1-8.
34. 単著「原本蒙古字韻的构拟」『KOTONOHA』第134号(2014年1月) pp. 1-14.
35. 単著「契丹語二項対立子音の弁別特徴について」『KOTONOHA』第182号(2018年1月) pp. 1-4.
36. 単著「女真語と女真文字」アジヤ遊学233『金・女真の歴史とユーラシア東方』(編集:古松崇志ほか。勉誠出版, 2019年) pp. 173-185.

事典などの項目

1. 単著, 項目「中国周辺の文字」『歴史学事典 第15巻』弘文堂(2008年6月) pp. 441-446.
2. 単著, 項目「漢字音〔その他〕」『日本語学大辞典』日本語学会編, 東京堂出版(2018年10月).

研究ノート、資料、概説、書評

1. 単著「吳方言文献目録稿—日文・中文(1979-1986)」『開編』(早稲田大学)第3号(1987年7月) pp. 83-121.
2. 単著「当代蘇州語会話資料(1)~(10)」『語学研究』(拓殖大学)第62号(1990年9月) pp. 37-75.
3. 単著「王安憶「戦士回家」吳方言語彙積」『語学研究』(拓殖大学)第71号(1993年1月) pp. 1-17. * 著者名を吳方言研究班としたが吉池執筆の単著

4. 共著, 慶谷壽信ほか 11 名と共著「内閣文庫蔵の王文璧『中州音韻』校本・校勘記試稿(東鐘韻部分)」『人文学報』(東京都立大学)第 273 号(1996 年 3 月) pp. 1-31.
5. 単著「母鶏と公鶏の性別成分の位置/鶏の語音: 声母」『中国における言語地理と人文・自然地理(5)漢語方言地図集(稿)第 3 集(平成 9-11 年度科学研究費基盤 A)』(1999 年 3 月) pp. 32-34, pp. 144-145.
6. 単著「中国語方言一方言区分の方法一」『愛知県立大学公開講座アジアの中の中国』(1999 年 5 月) pp. 29-43.
7. 単著「西夏文銅牌及び白銅銭の紹介」『慶谷壽信教授記念中国語学論集』好文出版(2002 年 11 月) pp. 221-222.
8. 単著「民族古文字の一資料」『KOTONOHA』(古代文字資料館)第 1 号(2002 年 11 月) pp. 11-12.
9. 単著「文字の定義: 趙元任氏の説による」『KOTONOHA』第 2 号(2002 年 12 月) pp. 12-13.
10. 単著「中国上古音声母の m について」『KOTONOHA』第 3 号(2003 年 1 月) pp. 5-7.
11. 単著「文字の単位」『KOTONOHA』第 4 号(2003 年 2 月) pp. 7-10.
12. 単著「西夏語訳法華経覚え書き」『KOTONOHA』第 5 号(2003 年 3 月) pp. 5-7.
13. 単著「元朝秘史の区分と音訳漢字の分布」『KOTONOHA』第 6 号(2003 年 4 月) pp. 3-5.
14. 単著「韃靼館雑字の h- について」『KOTONOHA』第 7 号(2003 年 5 月) pp. 9-12.
15. 単著「パスパ文字 n と i の字形の混同」『KOTONOHA』第 9 号(2003 年 7 月) pp. 14-15.
16. 単著「書史会要ウイグル字母表中のパスパ文字」『KOTONOHA』第 10 号(2003 年 9 月) pp. 8-13.
17. 単著「武丁時代甲骨文にみる神と王」『KOTONOHA』第 11 号(2003 年 10 月) pp. 11-14.
18. 単著「書かれた古代中国の宗教と政治」『愛知県立大学公開講座モンゴロイド古代王朝の宗教と政治』(2003 年 11 月) pp. 9-15.
19. 単著「漢語の精母系子音を表わす契丹小字について」『KOTONOHA』第 13 号(2003 年 12 月) pp. 18-21.
20. 単著「止摂開口精母系の漢語音を表わす契丹小字について」『KOTONOHA』第 14 号(2004 年 1 月) pp. 11-14.
21. 単著「止摂開口莊章母系の漢語音を表わす契丹小字について」『KOTONOHA』第 15 号(2004 年 2 月) pp. 11-14.
22. 単著「儒学免税役聖旨碑のパスパ文字」『KOTONOHA』第 16 号(2004 年 3 月) pp. 18-20.
23. 単著「蒙古字韻の特殊なパスパ文字」『KOTONOHA』第 17 号(2004 年 4 月) pp. 9-13.
24. 単著「管軍千戸所印(パスパ字漢語)一顆」『KOTONOHA』第 18 号(2004 年 5 月) pp. 8-9.
25. 単著「元代私印(パスパ字漢語)五顆」『KOTONOHA』第 19 号(2004 年 6 月) pp. 21-23.
26. 単著「西夏語訳法華経」『東洋学術研究』第 43 巻第 1 号(2004 年 6 月) p. 201.
27. 単著「西夏文字銭五種」『KOTONOHA』第 20 号(2004 年 7 月) pp. 10-13.
28. 単著「パスパ字チベット語の印章と紙幣」『KOTONOHA』第 21 号(2004 年 8 月) pp. 13-16.
29. 単著「「跋蒙古字韻」訳注」『KOTONOHA』第 22 号(2004 年 9 月) pp. 13-16.
30. 単著「パスパ文字の翻字に関する覚書」『KOTONOHA』第 23 号(2004 年 10 月) pp. 7-9.
31. 単著「パスパ文字モンゴル語聖旨の初頭定型句の分ち書きについて」『KOTONOHA』第 24 号(2004 年 11 月) pp. 11-16.
32. 単著「パスパ文字百家姓諸版本に於ける姓の配列順序などについて」『KOTONOHA』第 25 号(2004 年 12 月) pp. 9-18.
33. 単著「カールグレン氏の *ETUDES* で言及されたモンゴルの諸文献について」『KOTONOHA』第 26 号(2005 年 1 月) pp. 13-16.
34. 単著「パスパ文字チベット語「ga1 印」紹介」『KOTONOHA』第 27 号(2005 年 2 月) pp. 14.
35. 単著「四種の文字が刻まれた元代の銅錘について」『KOTONOHA』第 28 号(2005 年 3 月)

- pp. 9-13.
36. 単著「リゲティ論文所載パスパ文字百家姓と東洋文庫蔵本」『KOTONOHA』第29号(2005年4月) pp. 11-13.
 37. 単著「パスパとバクパ」『KOTONOHA』第30号(2005年5月) pp. 8-12.
 38. 単著「内藤湖南と元朝秘史パスパ文字本原典説」『KOTONOHA』第31号(2005年6月) pp. 9-11.
 39. 単著「内藤湖南が対音を付したパスパ文字資料について」『KOTONOHA』第32号(2005年7月) pp. 9-14.
 40. 単著「安西王マンガラ鼠年(1276) 令旨のパスパ文字」『KOTONOHA』第33号(2005年8月) pp. 22-28.
 41. 単著「クビライ龍年(1280) 聖旨のパスパ文字」『KOTONOHA』第34号(2005年9月) pp. 11-18.
 42. 単著「クビライ牛年(1277-1289) 聖旨(1) のパスパ文字」『KOTONOHA』第35号(2005年10月) pp. 20-25.
 43. 単著「パスパ文字の字母表」『KOTONOHA』第37号(2005年12月) pp. 9-10.
 44. 単著「蒙文孝経の字母表」『KOTONOHA』第38号(2006年1月) pp. 17-20.
 45. 単著「パスパ文字印「gi」の近代における使用例」『KOTONOHA』第39号(2006年2月) pp. 16-17.
 46. 単著「江戸期古銭書『奇抄百圓』(1789年) 中のパスパ文字と満洲文字」『KOTONOHA』第40号(2006年3月) pp. 23.
 47. 単著「パスパ文字の由来—「j」など」『KOTONOHA』第41号(2006年4月) pp. 8-15.
 48. 単著「書史会要パスパ文字字母表のeなどについて」『KOTONOHA』第42号(2006年5月) pp. 11-15.
 49. 単著「至元訳語のqとγについて」『KOTONOHA』第43号(2006年6月) pp. 13-18.
 50. 単著「ウイグル亦都護銭の銘文」『KOTONOHA』第44号(2006年7月) pp. 10-15.
 51. 単著「清代古銭書にみるパスパ文字の判読」『KOTONOHA』第45号(2006年8月) pp. 14-18.
 52. 単著「乾隆嘉慶年間におけるパスパ文字銭の判読と蒙古字韻の利用」『KOTONOHA』第46号(2006年9月) pp. 24-29.
 53. 単著「民国期(1928年)における或るパスパ文字判読の試み」『KOTONOHA』第47号(2006年10月) pp. 20-22.
 54. 単著「中国周辺の漢字関連文字について」『KOTONOHA』第48号(2006年11月) pp. 23-27.
 55. 単著「中国周辺の漢字系文字」『KOTONOHA』第49号(2006年12月) pp. 25-30.
 56. 単著「中国周辺の擬似漢字系文字」『KOTONOHA』第50号(2007年1月) pp. 1-6.
 57. 単著「非漢字系の漢字関連文字」『KOTONOHA』第51号(2007年2月) pp. 1-5.
 58. 単著「有坂秀世『音韻論』の諸版本」『KOTONOHA』第52号(2007年3月) pp. 15-19.
 59. 単著「女真進士題名碑の拓本について」『KOTONOHA』第53号(2007年4月) pp. 16-18.
 60. 単著「文字の解説」『KOTONOHA』第54号(2007年5月) pp. 8-13.
 61. 単著「甲骨文字の解説」『KOTONOHA』第55号(2007年6月) pp. 12-18.
 62. 単著「西夏文字の解説」『KOTONOHA』第56号(2007年7月) pp. 11-18.
 63. 単著「契丹大字の解説」『KOTONOHA』第57号(2007年8月) pp. 18-25.
 64. 単著「劉氏の契丹大字表音節文字説について」『KOTONOHA』第58号(2007年9月) pp. 16-23.
 65. 単著「有坂秀世『音韻論』の増補版について」『KOTONOHA』第59号(2007年10月) pp. 9-13.
 66. 単著「漢字とソグド系文字」『KOTONOHA』第60号(2007年11月) pp. 16-21.
 67. 単著「文字について」『KOTONOHA』第61号(2007年12月) p. 15.

68. 単著「パスパ文字の書記方向」『KOTONOHA』第62号(2008年1月) pp. 18-20.
69. 単著「有坂秀世『音韻論』—故濱田敦氏旧蔵本紹介」『KOTONOHA』第63号(2008年2月) pp. 13-14.
70. 単著「鉄雲蔵亀の五問とト人」『KOTONOHA』第64号(2008年3月) pp. 10-14.
71. 単著「蒙古字韻の改装などについて」『KOTONOHA』第65号(2008年4月) pp. 11-12.
72. 単著「篆書体蒙文印章一顆」『KOTONOHA』第66号(2008年5月) pp. 16-19.
73. 単著「清代における蒙古字韻の利用—蔡美彪説」『KOTONOHA』第67号(2008年6月) p. 14.
74. 単著「天聰汗錢の満文属格語尾について」『KOTONOHA』第68号(2008年7月) pp. 14-16.
75. 単著「北周墓誌の粟特語(ソグド語)音訳漢字」『KOTONOHA』第69号(2008年8月) pp. 10-17.
76. 単著「蒙古字韻の校訂と増補について」『KOTONOHA』第70号(2008年9月) pp. 7-16.
77. 単著「蒙古字韻の補修について」『KOTONOHA』第71号(2008年10月) pp. 1-9.
78. 単著「蘇尼特系蒙古語方音初探: 母音」『KOTONOHA』第72号(2008年11月) pp. 11-14.
79. 単著「蘇尼特系蒙古語方音初探: 子音」『KOTONOHA』第73号(2008年12月) pp. 10-14.
80. 単著「蒙古字韻四庫採進本及び現存写本の書写時期」『KOTONOHA』第74号(2009年1月) pp. 41-43.
81. 単著「東洋文庫所蔵の八思巴(パスパ)文字拓本」『KOTONOHA』第75号(2009年2月) pp. 14-17.
82. 単著「有坂秀世氏の学位論文にみえる誤植等の訂正について」『KOTONOHA』第76号(2009年3月) pp. 13-18.
83. 単著「日本の八思巴(パスパ)文字資料—その仕分けについて」『KOTONOHA』第77号(2009年4月) pp. 14-17.
84. 単著「日本の八思巴(パスパ)文字資料—資料目録稿」『KOTONOHA』第78号(2009年5月) pp. 27-33.
85. 単著「貨幣の道」第79号(2009年6月) pp. 12-16.
86. 単著「至元六年フビライ詔書中の譯寫一切文字について」『KOTONOHA』第80号(2009年7月) pp. 32-36.
87. 単著「原本蒙古字韻考」『KOTONOHA』第81号(2009年8月) pp. 10-17.
88. 単著「蒙古字韻の篆字母表について」『KOTONOHA』第82号(2009年9月) pp. 13-18.
89. 単著「東アジアの漢字関連文字」『現代中国への道案内Ⅱ』白帝社(2009年9月) pp. 85-110.
90. 単著「元代の漢字音訳法—蒙古語の音節末閉鎖音について—」『KOTONOHA』第83号(2009年10月) pp. 11-17.
91. 単著『『書史会要』八思巴字字母表—音注悪と梵文 visarga—』『KOTONOHA』第84号(2009年11月) pp. 13-16.
92. 単著「原本蒙古字韻の復元—校正字様の各本重入漢字をめぐって(1)—」『KOTONOHA』第85号(2009年12月) pp. 13-20.
93. 単著「原本蒙古字韻の復元—校正字様の各本重入漢字をめぐって(2)—」『KOTONOHA』第86号(2010年1月) pp. 16-24.
94. 単著「原本蒙古字韻の復元—校正字様の湖北本誤をめぐって—」『KOTONOHA』第87号(2010年2月) pp. 12-18.
95. 単著「シルクロードの貨幣と文字」『KOTONOHA』第88号(2010年3月) pp. 11-16.
96. 単著「貨幣の銘文について」『KOTONOHA』第89号(2010年4月) pp. 18-21.
97. 単著「満文“天命招福錢”について」第90号(2010年5月) p. 19.

98. 単著「原本蒙古字韻の復元 一校正字様の浙東本誤をめぐって一」『KOTONOHA』第91号 (2010年6月) pp. 12-20.
99. 単著「長田夏樹氏の契丹文字に係る論文をよむ 一その1」『KOTONOHA』第92号 (2010年7月) pp. 14-19.
100. 単著「長田夏樹氏の契丹文字に係る論文をよむ 一その2」『KOTONOHA』第93号 (2010年8月) pp. 13-21.
101. 単著「“契丹大小字”諸説」『KOTONOHA』第94号 (2010年9月) pp. 17-20.
102. 単著「蒙古字韻総括變化之圖の増補時期」『KOTONOHA』第95号 (2010年10月) pp. 19-28.
103. 単著「ガイドラインとして的一般文字学」『KOTONOHA』第96号 (2010年11月) p. 18.
104. 単著「訓民正音の文字要素の配列と伸縮」『KOTONOHA』第97号 (2010年12月) pp. 22-25.
105. 単著「長田夏樹氏と契丹小字研究」『KOTONOHA』第98号 (2011年1月) pp. 13-20.
106. 単著, 書評8点「蒙古韻略と中原音韻」pp. 137-138、「満州語と女真語」pp. 172-173、「契丹文字解読の可能性」pp. 175-176、「奴兒干永寧寺碑蒙古女真文釈二稿」p. 180、「女真文字と現存資料」pp. 187-188、「契丹語解読方法論序説」pp. 200-201、「契丹漢字音探源」pp. 205-206、「契丹文字, 女真文字及び西夏文字の関連性についての一考察」pp. 207-208、『長田夏樹先生追悼集』好文出版 (2011年1月)。
107. 単著「バクトリア王アガトクレスの二言語併用貨幣」『KOTONOHA』第99号 (2011年2月) pp. 18-21.
108. 単著「『慶陵』契丹文字接尾語表の属格語尾」『KOTONOHA』第101号 (2011年4月) pp. 20-27.
109. 単著「パスパ文字官印の喩母と幺母について」『KOTONOHA』第102号 (2011年5月) pp. 8-10.
110. 単著「長田夏樹氏の契丹語ノートなど 一契丹原字出度表一」『KOTONOHA』第103号 (2011年6月) pp. 9-19.
111. 単著「訓民正音の文字要素配列法」『KOTONOHA』第104号 (2011年7月) pp. 7-11.
112. 単著「長田夏樹氏の契丹語ノートなど 一契丹原字音価表一」『KOTONOHA』第105号 (2011年8月) pp. 19-26.
113. 単著「周辺言語の漢字音」『KOTONOHA』第106号 (2011年9月) pp. 6-18.
114. 単著「壮語の漢字音」『KOTONOHA』第107号 (2011年10月) pp. 12-17.
115. 単著「慶谷壽信著『有坂秀世研究 一人と学問一』人名索引(稿)」『KOTONOHA』第108号 (2011年11月) pp. 12-15.
116. 単著「契丹漢字音の存否」『KOTONOHA』第109号 (2011年12月) pp. 12-18.
117. 単著「長田夏樹氏の契丹語ノートなど 一接尾語備忘録一」『KOTONOHA』第110号 (2012年1月) pp. 1-8.
118. 単著「長田夏樹氏の契丹語ノートなど 一『慶陵』に関わる諸資料の音価対照一」『KOTONOHA』第111号 (2012年2月) pp. 11-16.
119. 単著「契丹文字接尾語表(『慶陵』)考(1)」『KOTONOHA』第112号 (2012年3月) pp. 1-8.
120. 単著「契丹文字接尾語表(『慶陵』)考(2)」『KOTONOHA』第113号 (2012年4月) pp. 16-19.
121. 単著「東洋文庫所蔵女真字碑断片拓本について」『KOTONOHA』第114号 (2012年5月) p. 1.
122. 共著, 長田礼子、武内康則、中村雅之と共著「長田夏樹氏旧蔵拓本目録」『KOTONOHA』第115号 (2012年6月) pp. 1-3.
123. 単著「契丹文字接尾語表(『慶陵』)考(3)」『KOTONOHA』第116号 (2012年7月) pp. 15-18.
124. 単著「八思巴字漢語私印一類 一“朱”印一」『KOTONOHA』第117号 (2012年8月) p. 1.
125. 単著「長田夏樹氏の契丹語ノートなど 一「接尾語備忘録」の挙例と『慶陵』の記述一」

- 『KOTONOHA』第118号(2012年9月) pp. 1-4.
126. 単著「長田夏樹氏旧蔵学術資料目録 一抜刷論文・電子複写論文・口頭発表資料一」『KOTONOHA』第119号(2012年10月) pp. 1-5.
127. 単著「厲氏 1958年の契丹小字研究 一漢語音を利用した先駆的研究として一」『KOTONOHA』第120号(2012年11月) pp. 1-5.
128. 単著「西夏錢銘文の変遷と西夏の国情」『KOTONOHA』第121号(2012年12月) pp. 14-21.
129. 単著「『慶陵』(1953年刊)の契丹語研究 一体系的研究の嚆矢として一」『KOTONOHA』第122号(2013年1月) pp. 1-8.
130. 単著「契丹語の孝について」『KOTONOHA』第124号(2013年3月) pp. 14-17.
131. 単著「長田夏樹氏旧蔵図書目録1(古代文字資料館管理分)」『KOTONOHA』第125号(2013年4月) pp. 1-5.
132. 単著「日僧行智の八思巴文字研究 一資料(1818年)書誌一」『KOTONOHA』第126号(2013年5月) pp. 26-29.
133. 単著「关于契丹小字的字素排列法」『KOTONOHA』第127号(2013年6月) pp. 1-4.
134. 単著「关于训民正音的字素排列法」『KOTONOHA』第128号(2013年7月) pp. 32-36.
135. 単著「关于长田夏樹先生遗留的契丹小字解读工作」『KOTONOHA』第129号(2013年8月) pp. 1-9.
136. 単著「契丹文字と西夏文字」『KOTONOHA』第131号(2013年10月) pp. 23-26.
137. 単著「擬似漢字という用語について」『KOTONOHA』第132号(2013年11月) pp. 17-20.
138. 単著「关于八思巴字文献目录的编写」『KOTONOHA』第133号(2013年12月) pp. 1-4.
139. 単著「『蒙古字韻』複製本の種類と特徴」『KOTONOHA』第135号(2014年2月) pp. 1-4.
140. 単著「東アジアの古文字と解読について」『KOTONOHA』第136号(2014年3月) pp. 1-4.
141. 単著「ギリシアとインドの邂逅 一貨幣の形態と製造法について一」『KOTONOHA』第137号(2014年4月) pp. 9-11.
142. 単著「西夏陵墓出土残碑(M2X:3+20+160+533+876)について」『KOTONOHA』第138号(2014年5月) pp. 5-8.
143. 単著「西夏陵墓出土残碑(M2X:37+58+152)について」『KOTONOHA』第139号(2014年6月) pp. 7-8.
144. 単著「郎君行記末尾の契丹小字と漢語訳」『KOTONOHA』第140号(2014年7月) pp. 3-7.
145. 単著「甲骨文字 一その解読と後代の同系文字一」『KOTONOHA』第141号(2014年8月) pp. 4-10.
146. 単著「北インド・クニンダの二言語併用貨幣」第142号(2014年9月) pp. 42-43.
147. 単著「二言語併用貨幣 一セミレチエのソグド銭一」『KOTONOHA』第143号(2014年10月) pp. 3-4.
148. 単著「1言語を複数の異なる文字で表記する貨幣銘文の出現」『KOTONOHA』第144号(2014年11月) pp. 1-5.
149. 単著「二言語併用貨幣 一イル・ハン国第4代アルグン発行の銀貨一」『KOTONOHA』第145号(2014年12月) pp. 1-2.
150. 単著「八思巴字官印集積 一『隋唐以来官印集存』の「神山驛印」一」『KOTONOHA』第146号(2015年1月) p. 1.
151. 単著「『遼上京文物撮英』『遼上京契丹記憶』中の八思巴字漢語“gi収”印」『KOTONOHA』第147号(2015年2月) p. 1.
152. 単著「八思巴字官印集積 一『隋唐以来官印集存』の「管軍總把印」一」『KOTONOHA』第149号(2015年4月) p. 41.
153. 単著「八思巴字官印集積 一『隋唐以来官印集存』の左阿速衛親軍都指揮使司百戸印一」

- 『KOTONOHA』第150号(2015年5月) pp. 42-43.
154. 単著「八思巴字官印集積 — 『隋唐以来官印集存』の湖陽等處武勇義兵百戸印—」
『KOTONOHA』第151号(2015年6月) pp. 25-26.
155. 単著「八思巴字官印集積 — 『隋唐以来官印集存』の管軍下千戸所印—」 『KOTONOHA』
第152号(2015年7月) pp. 68-70.
156. 単著「八思巴字官印集積 — 『隋唐以来官印集存』の管軍上百戸之印—」 『KOTONOHA』
第153号(2015年8月) pp. 1-4.
157. 単著「八思巴字官印集積 — 『隋唐以来官印集存』の南陽等處毛胡蘆義兵百戸印—」
『KOTONOHA』第154号(2015年9月) pp. 1-2.
158. 単著「『蒙古字韻』篆字母の実用例 — 微母字について—」 『KOTONOHA』第155号(2015
年10月) pp. 1-2.
159. 単著「『蒙古字韻』篆字母の実用例 — 匣母字について—」 『KOTONOHA』第156号(2015
年11月) p. 1-2.
160. 単著「漢語音・漢字音などについて」 『KOTONOHA』第157号(2015年12月) pp. 1-6.
161. 単著「二言語併用貨幣の伝播 — ギリシア系バクトリア王国からクシャン朝まで—」
『KOTONOHA』第158号(2016年1月) pp. 1-6.
162. 単著「クシャン朝仏陀立像コインの真贋について」 『KOTONOHA』第159号(2016年2月)
pp. 46-48.
163. 単著「唐宋漢語の研究に供する契丹語等文献の目録について」 『KOTONOHA』第160号(2016
年3月) pp. 45-46.
164. 単著「ちまたの文字資料 — 箸袋の文字—」 『KOTONOHA』第161号(2016年4月) p. 48.
165. 共著, 中村雅之と共著「慶谷壽信先生の学問などについて (1)」 『KOTONOHA』第162
号(2016年5月) pp. 32-35.
166. 共著, 中村雅之と共著「慶谷壽信先生の学問などについて (2)」 『KOTONOHA』第163
号(2016年6月) pp. 29-33.
167. 共著, 中村雅之と共著「慶谷壽信先生の学問などについて (3) 附: 慶谷壽信「反切と
仏教文化」」 『KOTONOHA』第164号(2016年7月) pp. 28-36.
168. 共著, 中村雅之と共著「慶谷壽信先生の学問などについて (4)」 『KOTONOHA』第165
号(2016年8月) pp. 1-6.
169. 共著, 中村雅之と共著「慶谷壽信先生の学問などについて (5)」 『KOTONOHA』第166
号(2016年9月) pp. 1-6.
170. 単著「漢音の米(ベイ)などについて」 『KOTONOHA』第167号(2016年10月) pp. 1-4.
171. 単著「奈良時代の濁音と漢音の米(ベイ)などについて」 『KOTONOHA』第168号(2016
年11月) pp. 1-6
172. 単著「有坂秀世氏の音韻観念の変遷について — 唐代長安のm-とmb-をめぐって—」
『KOTONOHA』第169号(2016年12月) pp. 31-36.
173. 単著「八思巴字」 『元明漢語文獻目録』(遠藤光暁、竹越孝主編。上海: 中西書局、2016
年12月) pp. 47-67.
174. 共著「慶谷壽信先生の学問などについて(6)」 『KOTONOHA』第170号(2017年1月) pp. 23-28.
175. 単著「日本漢字音の源流 — とくに漢音について—」 『漢検生涯学習ネットワーク 会
員通信』24(2017年2月) p. 1.
176. 共著「慶谷壽信先生の学問などについて(7)」 『KOTONOHA』第172号(2017年3月) pp. 11-17.
177. 共著, 中村雅之と共著「慶谷壽信先生の学問などについて (8)」 『KOTONOHA』第173
号(2017年4月) pp. 18-22.
178. 共著, 中村雅之と共著「慶谷壽信先生の学問などについて (9)」 『KOTONOHA』第174

- 号 (2017年5月) pp. 18-25.
179. 単著「歌戈魚虞模古讀管見の講義より」『中國語學研究 開篇』vol. 35 号 (2017 年 5 月) pp. 51-52.
180. 単著「甲骨文字談義 (1)」『KOTONOHA』第175号 (2017年6月) pp. 16-20.
181. 単著「甲骨文字談義 (2)」『KOTONOHA』第176号 (2017年7月) pp. 13-21.
182. 単著「甲骨文字談義 (3)」『KOTONOHA』第177号 (2017年8月) pp. 1-8.
183. 単著「甲骨文字談義 (4)」『KOTONOHA』第178号 (2017年9月) pp. 1-5.
184. 単著「女真文字談義 (1)」『KOTONOHA』第179号 (2017年10月) pp. 1-6.
185. 単著「女真文字談義 (2)」『KOTONOHA』第180号 (2017年11月) pp. 1-9.
186. 単著「内容別甲骨文字簡表 (稿)」『KOTONOHA』第181号 (2017年12月) pp. 1-3.
187. 単著「女真文字談義 (3) —遼朝と金朝の契丹文字—」『KOTONOHA』第183号 (2018年2 月) p. 1-9.
188. 単著「女真文字談義 (4) —文字と発音、音韻観念など—」『KOTONOHA』第184 号 (2018年3月) pp. 1-8.
189. 単著「女真文字談義 (5) —現代満州語口語の二項対立子音、アルタイ諸語のsの音質 など—」『KOTONOHA』第185号 (2018年4月) pp. 1-10.
190. 単著「女真文字談義 (6) —『寧古塔紀略』の満州語口語、無圈点及び有圈点満州文 字など—」『KOTONOHA』第186号 (2018年5月) pp. 15-28.
191. 単著「女真文字談義 (7) —女真館訳語の雑字と来文、硬音と軟音、外来語の表記な ど—」『KOTONOHA』第187号 (2018年6月) pp. 14-36.
192. 単著「女真文字談義 (8) —明代女真語「永寧寺碑」—」『KOTONOHA』第188号 (2018 年7月) pp. 10-17.
193. 単著「シルクロードの文字 —ギリシアとインドの出会い(1)—」『KOTONOHA』第189 号 (2018年8月) pp. 17-25.
194. 単著「シルクロードの文字と文化」『愛知県立大学公開講座 紙の道の文化史—正倉院 からサマルカンドまで—』(地域連携センター, 2018 年) pp. 9-15.
195. 単著『『後漢書・西域伝』の音訳語「閻膏珍」はカニシカ王の父かそれとも祖父か』『愛 知県立大学 2019 年度連続講座 県大アゲイン』(愛知県立大学地域連携センター, 2019 年) pp. 23-29.

辞典、事典

教科書、辞典部分執筆、編注、学術図書及び学術雑誌の編集刊行

1. 共著, 西槇光正と共著『中国留学必修表現(100)』駿河台出版社 (1993 年 4 月) 全 32 頁.
2. 単著『初級中国語の文法と作文』愛知県立大学 E511 (1998 年 4 月) 全 150 頁.
3. 辞典部分執筆, 戸川芳郎監修『全訳 漢辞海』三省堂 (2000 年 1 月).
4. 編注「パスパ文字」pp. 165-240, 『橋本萬太郎著作集 第三巻音韻』内山書店 (2000 年 10 月).
5. 編集刊行, 慶谷寿信著『有坂秀世研究 一人と学問—』古代文字資料館 (第 1 刷 2009 年 9 月, 第 2 刷 2010 年 12 月) 全 401 頁.
6. 編集刊行, 『KOTONOHA 2012』(250 頁)、『KOTONOHA 2013』(312 頁)、『KOTONOHA 2014』(386 頁)、『KOTONOHA 2015』(472 頁)、『KOTONOHA 2016』(444 頁)、『KOTONOHA 2017』(246 頁) 古代文字資料館.

講演、公開講座、研究発表（口頭）

1. 「日本漢字音の源流 ―とくに漢音について―」（第 18 回漢字検定会員研修会）2016 年 12 月 18 日，於：愛知県名古屋市ウインクあいち.
2. 「シルクロードの文字と文化」（公開講座：紙の道の文化史 ―正倉院からサマルカンドまで―）2018 年 10 月 27 日，於：愛知県立大学.

【2019 年 6 月まで】